

ステレオイヤ レシーバー

MDR-EX38iP



©2010 Sony Corporation Printed in Thailand

警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

警告

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中はイヤレシーバーは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- このイヤレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎで、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤレシーバーで聞くとときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- イヤレシーバーが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- イヤピースはしっかり取り付けてください。イヤピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。
- iPod とつないだイヤレシーバーとを付属のキャリングポーチなどに一緒に入れる場合は、誤ってリモコンボタンを押してしまわないようご注意ください。

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



禁止



禁止



禁止

iPod & iPhone 対応モデル

本機には下記の iPod & iPhone が対応しています。ご使用前に、お使いの iPod & iPhone を最新のソフトウェアにアップデートしてください。特別な場合を除き、この取扱説明書では iPod および iPhone の総称として「iPod」と記載しています。

- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPod touch (第3世代)
- iPod touch (第2世代)
- iPod classic 120GB/160GB (2009)
- iPod nano (第5世代 ビデオカメラ)
- iPod nano (第4世代 ビデオ)
- iPod shuffle (第3世代)
- iPad

※ 2010年8月現在

ご注意

- 対応以外の iPod を本機に接続しないでください。本機で対応していない iPod を使用した際の動作は保証していません。
- 対応している iPod でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できないことがあります。
- 本機の不具合など何らかの原因で、外部機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

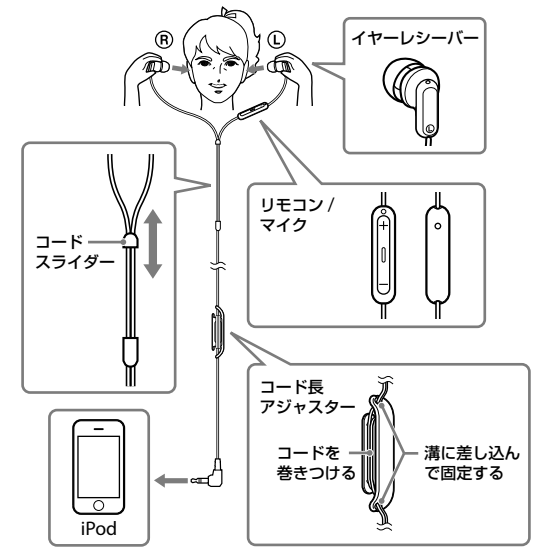
商標

- iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPad は、Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」「Made for iPhone」および、「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone、iPad 専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

主な特長

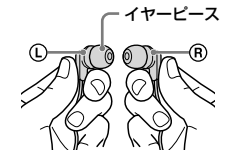
- 手で簡単にリモコン操作できる iPod & iPhone、iPad 用ヘッドセット
- ハンスフリーで通話可能 (iPhone 使用時)
- ボイスメモを録音 (ボイスメモに対応した iPod モデルのみ)
- 音の解像度を高め、クリアな中高音と重厚でパワフルな低音を再生する 400 kJ/m³ 高磁力ネオジウムマグネット採用
- 密閉度が高く、長時間使用でも快適で安定した装着性を実現した、ハイブリッドイヤピースを採用
- コード長: 1.2 m

イヤレシーバーの使いかた



イヤレシーバーの正しい装着方法

- 1 左右を確認し、図のように持つ。



- 2 本体が耳におさまるようにしっかりと装着する。
⑧の印のついた方を右耳に、⑨の印のついた方を左耳に付けてください。
⑨の印の方には左右識別用の突起があります。



- 3 イヤピースが耳にきちんと装着されるように調節する。



コードスライダの使いかた

コードスライダを上下に動かして、コードの分岐を調節することができます。

コード長アジャスター (付属) の使いかた

図のようにコードを巻きつけて長さを調節できます。(巻きつける長さは 50 cm までを目安に調節してください。それ以上巻きつけるとコードがはずれやすくなります。)

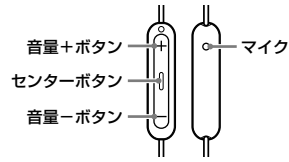
ご注意

プラグやコード分岐部分を巻きつけないようにしてください。負担がかかりやすく断線につながる恐れがあります。

リモコン/マイクの使いかた

つないだ iPod を操作できます。

各部のなまえと働き



- **音量+ボタン**
iPod の音量が上がります。
- **センターボタン**
 - 1 回押す (●)：iPod の曲を再生 / 一時停止します。
 - 2 回押す (●●)：次の曲を頭出しします。
 - 3 回押す (●●●)：前の曲を頭出しします。
 - 押し続ける (●●●)：“VoiceOver” 機能が始まります (対応する場合のみ) *。
 - 着信時に 1 回押す (●)：通話できます。通話を終了するにはもう一度押してください。
 - 着信時に 2 秒以上押し続ける (●●●)：着信拒否できます。ピーブ音が小さく 2 回鳴って着信拒否を知らせます。

* iPod およびソフトウェアのバージョンによって異なります。

- **音量-ボタン**
iPod の音量が下がります。

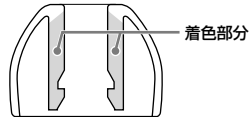
イヤピースの正しい装着方法

イヤピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、M サイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属の L サイズや S サイズに交換してください。付属以外にも S サイズよりも小さい SS サイズを別売しています。イヤピースがはずれて耳に残らないよう、イヤピースを交換する際には、イヤレシーバーにしっかり取り付けてください。

イヤピースのサイズ (内側の色)

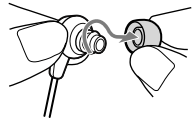
小さい	←		大きい
SS (別売) (赤)	S (橙)	M (緑)	L (水色)

断面図



イヤピースをはずすときは

イヤレシーバーを片手で押さえ、もう一方の手でイヤピースを軸ごとねじりながらはずします。



ヒント

イヤピースが滑りやすくなるとはずしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。

イヤピースをつけるときは

イヤレシーバーの突起部分が完全に隠れるまで、イヤピースの着色部分を押し込んでください。



主な仕様

レシーバー部

形式：	密閉ダイナミック型
ドライバーユニット：	9 mm、ドーム型 (CCAW 採用)
最大入力：	100 mW (IEC*)
インピーダンス：	16 Ω (1 kHz にて)
音圧感度：	100 dB/mW
再生周波数帯域：	6 ~ 23,000 Hz
コード：	1.2 m Y 型コード
プラグ：	4 極 金メッキステレオミニプラグ
質量：	約 3 g (コード含まず)

マイク部

開回路電圧レベル：	-42 dB (0 dB=1 V/Pa)
付属品：	イヤピース (S、M、L 各 2) チャリングポーチ (1) コード長アジャスター (1)

* IEC (国際電気標準会議) 規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取り扱い上のご注意

- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音かとざれたりすることがあります。
- イヤピースのお手入れは、イヤレシーバーからイヤピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

イヤピースは消耗品です。イヤピースが破損し交換する場合は、別売りの EP-EX10 シリーズ (SS、S、M、L の各サイズ) をお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にビリビリと痛みを感じることがありますが、イヤレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより軽減されます。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから

<http://www.sony.co.jp/avp-regi/>



携帯電話から

2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。

<http://reg.msc.m.sony.jp/avp/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

➡ **「309」+「#」**

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1